

## 成果指標設定調書

## 【成果指標の設定】

成果指標設定年度 令和2 年度

市町村名	本庄市			
提案事業名	本庄市共生社会づくり交流事業			
事業期間	令和2 年度	～	令和2 年度	
事業の必要性、目的	<p>本市は、埼玉県の3偉人、盲目の国学者塙保己一誕生の地であるとともに、合併前の旧児玉町では、サッカーが町技として盛んに行われ、子どもから大人までサッカーを楽しんでいます。また、平成29年1月には、市民主導による「ロービジョンフットサル日本代表を応援する会 本庄支部」が発足し、日本代表合宿の支援を市と市民が協働して行っています。</p> <p>このような土壌の中で、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されるにあたり、平成30年12月にパラリンピック競技である視覚障害者5人制サッカー（ブラインドサッカー）を通じて、トルコ共和国を相手国とするホストタウンに登録されました。</p> <p>今後は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、ホストタウンとして自治体と大会参加国関係者との人的・経済的・文化的な相互交流を図るとともに、障害者スポーツの普及・啓発を継続的に行っていくことが、地域の活性化やスポーツを通じた健常者の障害者への意識改革に繋がっていくと考えられます。</p> <p>市民と選手が交流できる場、大会に出場する選手などの一流のプレーを体感できる機会を設けることで、市内外を問わず、来訪者増加を図り、障害者との共生社会の実現を目指していきます。</p>			
成果指標	（成果を検証する指標） トルコのホストタウンとしての認知度			
	（成果検証の具体的な方法） イベントなどにおいてアンケートを行い、トルコのホストタウンとしての認知度を調査する。			
	（上記の指標を設定した理由） 本市は2018年12月にトルコを相手国とするホストタウンに登録され、現在まで様々なホストタウン交流事業を行ってきたが、トルコのホストタウンとしてどの程度認知されているか調査し、今後の取り組みに向け検証する必要があるため。			
	（成果の目標値）			
	現状値 （R2年1月現在）	—	目標値 （R3年3月時点）	50%
	（施設建設等の場合）			
	年間利用者数（目標）（人）	—	稼働率（目標）（%）	—
住民への公表方法及び特記事項	広報紙、ホームページ等で周知を行う。			

## 【成果指標と構成事業の関連性】

令和2年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費（千円）
① ホストタウン交流事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内小中学校における駐日トルコ共和国大使館外交官による講演会</li> <li>パラリンピックテコンドートルコ共和国代表チーム事前合宿受入れによる交流事業</li> </ul> パラリンピックを契機にホストタウンとなったトルコの選手や外交官等との交流事業を通じ、相互理解と文化交流を深め共生社会への実現を目指します。	1,702
② 東京2020大会への機運醸成・レガシー創出事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>ブラインドサッカーの独自の大会「本庄杯（仮称）」の開催及び体験教室</li> <li>オリンピック・パラリンピック啓発ポスター・チラシ作成</li> </ul> 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた機運醸成と大会理念を継承していくための事業を行います。	2,103
③		
合計		3,805

## 【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機としたホストタウン交流事業として、駐日トルコ共和国大使館外交官による文化紹介等の講演、ブラインドサッカーの独自の大会、オリンピック・パラリンピックや障害者スポーツに関係する著名な方による講演会、体験教室の開催、事前合宿を契機とした交流事業などを開催し、その情報をSNS等を活用し多角的に情報発信し
成果指標の達成見込み	市教育委員会（学校教育課、体育課）と障害福祉課のほか、駐日トルコ共和国大使館、日本ブラインドサッカー協会、市内民間企業、関係団体等との連携を図り、上記事業を実施するとともに、市広報紙や各メディアに対し、継続的かつ効果的な情報発信を行っていく。